

環境性能を高めたオフィス向けモノクロ複合機 4 モデルを発売 情報漏えいを防止するセキュリティー性能を強化しオフィス業務に安心を提供

キヤノンは、オフィス向けモノクロ複合機の新製品として、“imageRUNNER ADVANCE DX 4845F／4835F／4825F”の3モデルと、“Satera MF7625F”の計4モデルを2022年10月下旬より順次発売します。



imageRUNNER ADVANCE DX 4845F
* オプション装着時



Satera MF7625F

新製品は、業界トップクラスの低消費電力を実現し、注目度を増す環境問題へ対応するほか、巧妙さを増すサイバー攻撃に備え、セキュリティー性能を強化しており、オフィス業務に安心を提供します。

1. 業界トップクラスの消費電力や本体軽量化などで環境負荷を削減（imageRUNNER ADVANCE DX 3モデル）

従来機種^{※1}に比べ、消費電力の約25%低減による業界トップクラスの標準消費電力量（TEC値）^{※2}や、約15%の本体軽量化^{※3}にともなう稼働時や製品輸送時のCO₂排出量削減により、環境負荷の低減に貢献します。約565（幅）×722（奥行き）mmのコンパクト設計により、スペースの限られた小規模オフィスでも配置できます。また、針なし綴じに対応したフィニッシャー（有償オプション）を装着することで、最大10枚（64g/m²）までの用紙を圧着で綴じすることもでき、金属針の廃棄物削減につながります。

2. 堅牢なセキュリティー性能により情報漏えいを防止

スキャンデータやプリントジョブなど、大量の情報を扱う複合機には、IoT機器として高度なセキュリティー性能が求められます。新製品は、データの保存や通信において、強固な暗号化機能を提供する「TPM 2.0」や「TLS 1.3」、無線LANのセキュリティープロトコル「WPA3」といった最新規格に対応しており、堅牢なセキュリティー性能によって情報漏えいを抑止します。オフィスから離れた場所と情報共有するうえで利便性の高い外部クラウドストレージを活用する際にも、スキャン文書を直接送信し保存できます^{※4}。また、オンラインマニュアルで提供する「セキュリティー設定ナビ」を使えば、簡単な設問に答えるだけで使用環境に適したセキュリティー設定を行えるため、専任のIT担当者がいない企業などでも複合機を安心してお使いいただけます。

3. クラウドサービスとの連携により業務に応じたDXの推進に貢献

クラウド型MFP機能拡張プラットフォーム「uniFLOW Online」との連携を行うことで、ID認証による高いセキュリティー環境での印刷や集計レポート機能の活用、各種クラウドサービスとの連携が可能となり、業務効率化に貢献します。

※1. 「imageRUNNER ADVANCE DX 4745F／4735F／4725F」（2020年6月発売）。

※2. 国際エネルギースタープログラム使用製品（25～45枚／分クラスのコピー／ファクス／スキャナー機能付きのデジタルモノクロ複合機）との比較において、2022年9月27日現在。（キヤノン調べ）

※3. 従来機種（45／35枚機）の本体重さは約90kg、新製品は約75kg。従来機種（25枚機）の本体重さは約84kg、新製品は約69kg。

※4. 「uniFLOW Online Express」（無償）利用時は、Google Driveにのみ送信可能。「uniFLOW Online」（有償）利用時は、それに加えて、Box／Dropbox／OneDrive for Business／SharePoint Onlineなどにも送信可能。

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
imageRUNNER ADVANCE DX 4845F／4835F／4825F	146 万円～	2022 年 10 月下旬より順次
Satera MF7625F	オープン価格	

一般の方のお問い合わせ先
オフィス向け複合機ホームページ

：キヤノンお客様相談センター
： canon.jp/office-mfp

0570-08-0056

〈主な特長〉

1. 業界トップクラスの消費電力や本体軽量化などで環境負荷を削減

- imageRUNNER ADVANCE DX 3 モデルは、従来機種に比べ、消費電力の約 25%低減による業界トップクラスの標準消費電力量（TEC 値）や、約 15%の本体軽量化にともなう稼働時や製品輸送時の CO₂ 排出量削減により、環境負荷の低減に貢献。“Satera MF7625F”も、従来機種^{※1}に比べ、標準消費電力量（TEC 値）の約 18%低減や、約 9%の本体軽量化を実現。
- imageRUNNER ADVANCE DX 3 モデルは、約 565（幅）×722（奥行き）mm のコンパクト設計により、スペースの限られた小規模オフィスでも配置可能。“Satera MF7625F”も約 565（幅）×693（奥行き）mm のコンパクト設計。
- 針なし綴じに対応したフィニッシャーを装着することにより、最大 10 枚（64g/m²）までの用紙を圧着で綴じすることも可能なため金属針の廃棄物削減に貢献。

※1. 従来機種は、「Satera MF7525F」（2019 年 12 月発売）

2. 堅牢なセキュリティー性能により情報漏えいを防止

- データの保存や通信において、強固な暗号化機能を提供する「TPM 2.0」や「TLS 1.3」、無線 LAN のセキュリティープロトコル「WPA3」といった最新規格に対応しており、堅牢なセキュリティー性能によって情報漏えいを抑止。オフィスから離れた場所と情報共有するうえで利便性の高い外部クラウドストレージを活用する際にも、安心してスキャン文書を直接送信し保存可能。
- オンラインマニュアルで提供する「セキュリティー設定ナビ」を使えば、簡単な設問に答えるだけで使用環境に適したセキュリティー設定を行えるようになるため、専任の IT 担当者がいない企業などでも安心して複合機を使用可能。



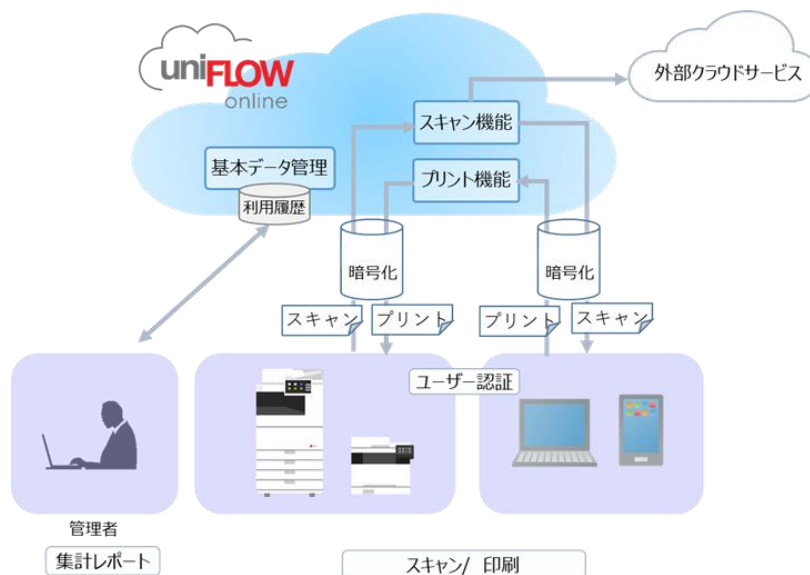
「セキュリティー設定ナビ」



設問に答えるだけで使用環境に適した設定マニュアルを表示

3. クラウドサービスとの連携により業務に応じた DX の推進に貢献

- クラウド型 MFP 機能拡張プラットフォーム「uniFLOW Online」との連携を行うことで、認証による高いセキュリティー環境での印刷や集計レポート機能の活用、各種クラウドサービスとの連携が可能となり、業務効率化に貢献。



uniFLOW Online のシステム構成図

4. 消耗部品の改善によりアフターサービスの負荷を軽減

- 定着器やドラムなどで使われるビスを大幅に削減し、消耗部品の交換に要する時間を短縮。工具を使わず短時間で交換作業が完了できるため、業務のダウンタイムを軽減。

〈複合機の市場動向〉

複合機に対しては、環境問題への対応やサイバー攻撃に備えたセキュリティー性能の強化といったニーズがこれまで以上に高まっています。複合機市場の 2021 年の出荷台数は国内で約 46 万台、全世界で約 397 万台でした。（キヤノン調べ）

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

- * box は Box, Inc.の商標または登録商標です。
- * Dropbox は米国 Dropbox, Inc.の商標または登録商標です。
- * Google Drive は Google LLC の商標です。
- * Microsoft Teams、OneDrive、SharePoint は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。